

50 アホウドリ先生に学ぶこれからの海洋保全 羽からの挑戦



©長谷川 博

長谷川博先生 海洋立国功労者表彰受賞記念シンポジウム

50羽という絶滅寸前の数まで減少したアホウドリ。多くの困難に直面しながら、あきらめずにその保護に取り組み続けた長谷川博先生と、今後の海洋環境の保全を考えていきます。

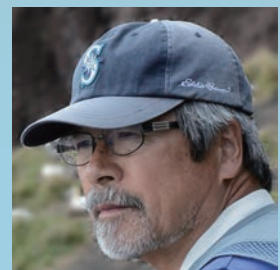
日 時： 2016年1月16日(土)
13:30～16:30(開場13:00)

会 場： 立教大学 マキムホール(15号館) MB01 教室
*地図裏面参照

参加費： 無料

定 員： 200名

申込み： 不要 直接会場にお越しください。



受賞記念講演 長谷川博先生

プログラム

■受賞記念講演

長谷川博先生

「50羽からの挑戦：
アホウドリ研究とその保全を続けた40年」

■講演

南浩史先生

「混獲回避の努力：
海洋生態系の保全に向けて」

■話題提供

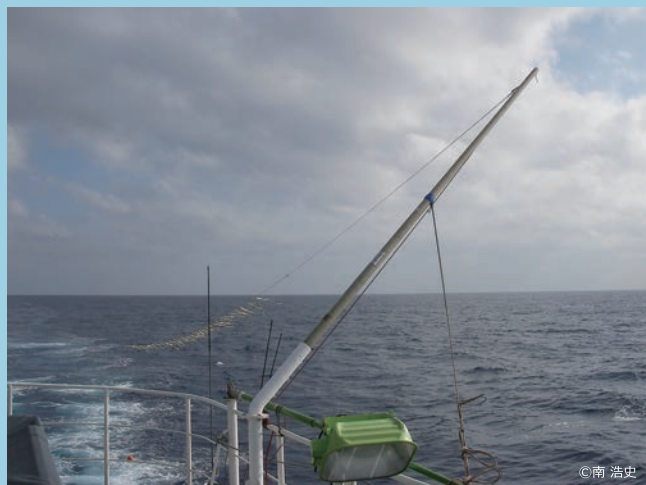
日本野鳥の会

バードライフ・インターナショナル東京

「海鳥の重要海域マリーン IBA の選定」

■パネルディスカッション

「アホウドリの保護事例から
今後の海洋の生物多様性保全を考える」



「トリボール」と呼ばれる海鳥を回避する装置

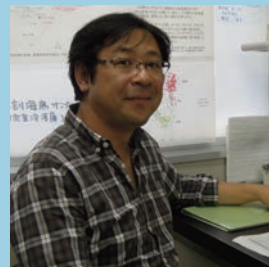
長谷川 博 | Hiroshi HASEGAWA

1948年静岡県生まれ。京都大学大学院理学研究科で動物生態学を専攻。1977年東邦大学理学部海洋生物学研究室の助手となり、伊豆諸島鳥島に生息する絶滅危惧種アホウドリの保護・繁殖研究に取り組む。1998年吉川英治文化賞、2000年にはエジンバラ公賞などを受賞。現在、東邦大学名誉教授。



南 浩史 | Hiroshi MINAMI

1967年大阪府生まれ。北海道大学大学院水産学研究科で学位を取得。国立研究開発法人水産総合研究センターかつお・まぐろ資源部混獲生物グループに所属し、まぐろはえ縄漁業で混獲される海鳥、海亀の混獲回避技術に関する研究や、彼らの移動、食性など生物学的な研究に従事している。



[会場]

立教大学 マキムホール (15号館) MB01 教室
JR各線・東武東上線・西武池袋線・
東京メトロ丸ノ内線/有楽町線/副都心線
「池袋駅」下車。西口、メトロポリタン口より
徒歩約7分

[お問い合わせ]

公益財団法人 日本野鳥の会 自然保護室
電話：03-5436-2633
E-mail：hogo@wbsj.org
住所：〒141-0031
東京都品川区西五反田3-9-23 丸和ビル